

週刊 SSH（5月26日）

「東京大学メタバース工学部 見学会」

SS科の1、2年生を対象に東京大学メタバース工学部 見学会を実施しました。
見学コースは2コースありました。

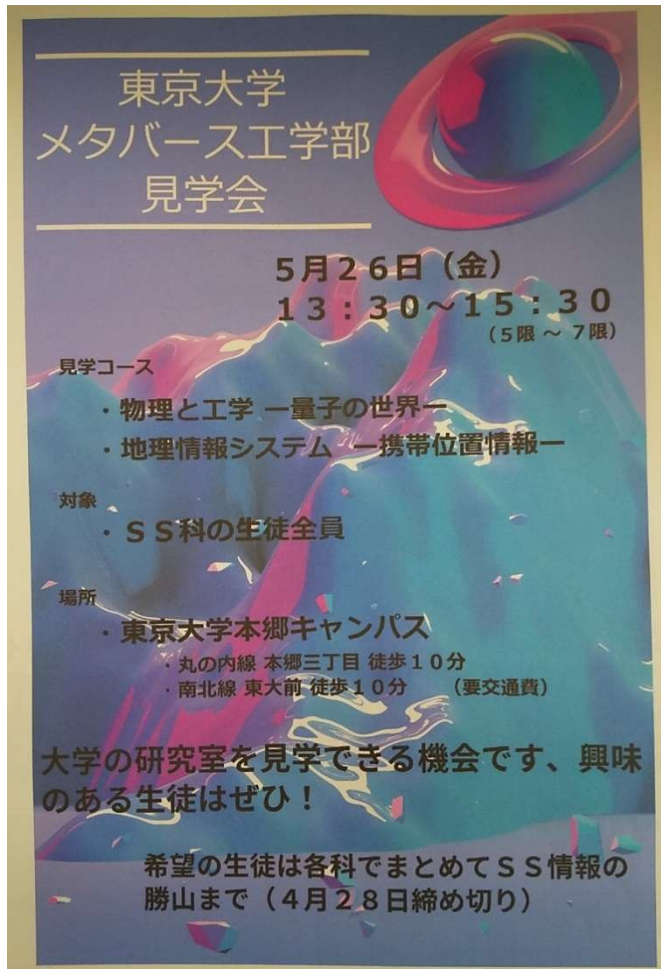
①物理と工学—量子の世界— ②地理情報システム—携帯位置情報—です。

東京大学の本郷キャンパスにある研究室の見学や、その他もろもろの建物の見学をさせていただきました。生徒Aの感想です。→特に印象に残っていたものは人の膝関節実模型を用いた間接負荷計測装置です。膝関節の模型を用いた、人間が起立するときの膝にかかる負担を調べる機械らしいです。もう一つ印象に残っていたのは東大の人が磁石について話していたのもとても印象的でした。難しすぎて内容があまり理解できませんでしたが、磁石の構造を最小単位まで分解したときの分子(?)の研究らしいです。生徒Bの感想です。→私は物理工学の研究室などを見学させて頂いた。研究室には、最高で億単位まで行く高価な実験器具があり、まずはそこに驚いた。企業と協力することもあり、世の中にアウトプットを出しているからこそできることなのだろう。

最初に見学した研究室は超電導についての実験をしているところだった。物体の温度を絶対零度まで下げることにより、電気抵抗0の状態を作り出して大きなエネルギーを得るという仕組みだ。ソフトバンクと共同研究をしており、スマートフォンへの活用が期待される。光について研究している研究室に行った。赤外線や紫外線も含めた様々な色の光を出せる装置などがあり、中には世界に1つしかない実験装置もあった。

生徒Cの感想です。→初めに量子コンピューターなどのナノの世界の装置などについての説明を受け、実際に見て、どれほど精密なものなのかを知ることができた。次に光をごく狭い一点に集め、それをレーザーとして鉄などの物質に照射すると、鉄が蒸発し薄い膜を作れるということを知った。

生徒の感想を見るとその研究施設の規模や行っている最先端の研究内容に非常に驚きと影響を受けていることが感じられた。これから自分たちの行う研究にいい刺激になったと思う。



東京大学
メタバース工学部
見学会

5月26日(金)
13:30~15:30
(5限~7限)

見学コース

- ・物理と工学—量子の世界—
- ・地理情報システム—携帯位置情報—

対象

- ・SS科の生徒全員

場所

- ・東京大学本郷キャンパス
- ・丸の内線 本郷三丁目 徒歩10分
- ・南北線 東大前 徒歩10分 (要交通費)

大学の研究室を見学できる機会です、興味のある生徒はぜひ!

希望の生徒は各科でまとめてSS情報の勝山まで(4月28日締め切り)